

報道関係各位

2026年 9 月 17日

国立研究開発法人国立がん研究センター
独立行政法人 中小企業基盤整備機構 関東本部
一般社団法人 TXアントレプレナーパートナーズ
千葉県

日本の医療機器開発のプレイヤーが集結しイノベーション創出
国立がん研究センター東病院×中小機構×TEP×千葉県
「第10回メディカルデバイスイノベーション in 柏の葉」
10月28日(水)開催

国立研究開発法人国立がん研究センター(理事長:間野 博行、東京都中央区)東病院(病院長:土井 俊彦、千葉県柏市、以下東病院)、独立行政法人 中小企業基盤整備機構 関東本部(本部長 赤塚 純一、東京都港区、以下中小機構)、一般社団法人TXアントレプレナーパートナーズ(代表理事:國土 晋吾、千葉県柏市、以下TEP)、千葉県(知事:熊谷 俊人)の4団体は、2026年10月28日(水)に「第10回メディカルデバイスイノベーション in 柏の葉」を KOIL(柏の葉オープンイノベーションラボ)にて開催することを決定しました。開催に先駆けて9月17日(木)より、以下のpeatixにて参加申込受付を開始いたします。

参加申込: <https://mdi2026.peatix.com>



第10回
メディカルデバイス
イノベーション
in 柏の葉

2026年
10月28日(水)16:00-19:25 (ネットワーキング~ 20:30)

会場 柏の葉キャンパス・KOIL 6F (千葉県柏市若葉 178-4 柏の葉キャンパス 148 街区 2)

オンライン
同時配信

「メディカルデバイスイノベーション in 柏の葉」は、革新的技術をもつスタートアップ、医療従事者、研究者、VC、企業等、メディカルデバイス(医療機器)に関わる多くのプレイヤーが柏の葉で一堂に会するイベントで、「柏の葉における医療機器開発のエコシステム構築」を目指し2017 年より毎年開催されており、東病院、中小機構、TEPの3団体のほか、昨年から千葉県が加わり、4団体の共催で開催いたします。

今回は記念すべき第10回目の開催であり、第一部では、国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 理事長の中釜 斉氏、およびStanford University Researcherの池野文昭氏をゲストスピーカーにお招きいたします。また第二部では、本プログラムを中核的に主導してきたNEXT医療機器開発センター(以下、NEXT)のこれまでにについて、国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院 副院長/医療機器開発推進部門長の伊藤雅昭が登壇いたします。第三部ではパネルディスカッションを予定しており、東病院発スタートアップや投資家など、医療機器スタートアップの事業成長に必須となるエコシステムのプレイヤーたちが登壇し、それぞれの立場から「NEXTの今」と「メディカルデバイスイノベーションのこれから」について、議論を交わします。

柏の葉エリア(千葉県柏市)では、2011年より「柏の葉スマートシティ」と称して、公・民・学が連携する「環境共生」「健康長寿」「新産業創造」の3本柱の街づくりが進められています。とりわけ医療分野では、柏の葉にて国のがん医療および研究の基幹病院としての役割を担ってきた東病院が、日本発の革新的医療機器の開発を目指すNEXTを設立し、医療デバイス分野におけるイノベーション創出に意欲的に取り組んで参りました。

医療デバイスにおけるイノベーション創出には、現場のニーズと優れた技術をマッチングさせることが肝要であるため、NEXTを中核としながら、革新的技術を持つスタートアップのネットワークを有する中小機構およびTEPが連携し、2017年に3組織共同で「医療デバイスイノベーション in 柏の葉」を立ち上げるに至りました。

本イベントでは、スタートアップや医療従事者だけではなく、VC、大手企業など毎年多くの医療機器に関わるプレイヤーが参加しており、講演や交流会を通して診療における現場ニーズの把握と技術・事業のマッチングが活発に行われています。

私たちは、本イベントを起点に、世界トップレベルの研究機関が集積する柏の葉から、医療機器開発のエコシステム構築に向けた取り組みを継続していきます。ご参加希望の方は下記の要領で事前にお申し込みください。皆様のご参加をお待ちしております。

「第10回医療デバイスイノベーション in 柏の葉」開催概要

- 日時:2026年10月28日(水) 16:00~19:25(ネットワーキング~20:30)
- 開催形式:ハイブリッド開催 (※オンライン同時配信あり)
- 会場:KOIL 6F KOIL スタジオ(千葉県柏市若柴 178-4 柏の葉キャンパス 148 街区 2)
- 現地参加・定員:80名 (※先着順)
- 参加費:無料 (※要事前申込)
- 共催:国立研究開発法人国立がん研究センター東病院
独立行政法人 中小企業基盤整備機構 関東本部
一般社団法人 TX アントレプレナーパートナーズ
千葉県
- 後援:柏市
- 参加申込:以下の URL または QR コードより、Peatixで必ず事前申込ください。
席数が限られるため、確実にご参加できる場合のみお申込みいただけるよう、
ご協力をお願いいたします。
<https://mdi2026.peatix.com>



- **プログラム** 内容は予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

16:00-16:10 開会挨拶

国立研究開発法人国立がん研究センター東病院 前院長 大津 敦
独立行政法人 中小企業基盤整備機構 関東本部長 赤塚 純一
一般社団法人TXアントレプレナーパートナーズ代表理事 國土 晋吾
柏市長 太田和美

16:10-17:00 第1部 ゲストスピーチ

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 理事長 中釜 斉
Stanford University Researcher 池野文昭

17:00-17:25 第2部 NEXTのこれまで

国立がん研究センター東病院 副院長/医療機器開発推進部門長 伊藤 雅昭

17:35-19:20 第3部:パネルディスカッション

1. NEXTの今

株式会社Jmees 代表取締役 松崎 博貴
株式会社Surg storage 代表取締役兼CEO 平尾 彰浩
株式会社Medseed 代表取締役社長 吉田 泰之
株式会社DELISPECT 代表取締役 金田 賢

2. メディカルデバイスイノベーションのこれから

MedVenture Partners株式会社 シニアマネージャー 桑木 織葉
公益財団法人医療機器センター 専務理事 中野 壮陸
東京大学医学部附属病院トランスレーショナルリサーチセンター
バイオデザイン部門 部門長 前田 祐二郎
SMBC 日興証券株式会社 インダストリアルズ・グループ 医療機器 & ライフサイエンス
セクターヘッド マネジングディレクター 押元 一也
国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院 医療機器開発支援部 部長 竹下 修由

19:20-19:25 閉会挨拶

国立研究開発法人国立がん研究センター東病院長 土井 俊彦

19:35-20:30 ネットワーキング

【本件に関するお問合せ先】

■ イベントに関するお問合せ

- ・ 国立研究開発法人国立がん研究センター東病院 NEXT 医療機器開発センター
担当: 菊池 TEL: 04-7130-0199 E-mail: tokikuc2@east.ncc.go.jp
- ・ 独立行政法人 中小企業基盤整備機構 関東本部
企業支援部 支援推進課 担当: 新山 TEL: 03-5470-1616 E-mail: niyama-ke@smrj.go.jp
東大柏ベンチャープラザ 担当: 小杉 TEL: 04-7136-8815 E-mail: tkv-info@smrj.go.jp
- ・ 一般社団法人 TX アントレプレナーパートナーズ
担当: 後藤 E-mail: contact@tepweb.jp
- ・ 千葉県 商工労働部 産業振興課 ベンチャー振興班
担当: 青山 TEL: 043-223-2798 E-mail: sangyo-v@mz.pref.chiba.lg.jp

■ 報道・プレス関係者のお問い合わせ

- ・ 国立研究開発法人国立がん研究センター 企画戦略局 広報企画室
TEL: 04-7133-1111(代表) E-mail: ncc-admin@ncc.go.jp
- ・ 独立行政法人 中小企業基盤整備機構 関東本部
企業支援部 支援推進課 担当: 新山 TEL: 03-5470-1616 E-mail: niyama-ke@smrj.go.jp
東大柏ベンチャープラザ 担当: 小杉 TEL: 04-7136-8815 E-mail: tkv-info@smrj.go.jp
- ・ 一般社団法人 TX アントレプレナーパートナーズ
担当: 後藤 E-mail: contact@tepweb.jp
- ・ 千葉県 商工労働部 産業振興課
担当: 森 TEL: 043-223-2717 E-mail: sangyo-v@mz.pref.chiba.lg.jp

【昨年開催時の様子】

2025年10月29日(水)、柏の葉において開催された「第9回メディカルデバイスイノベーション in 柏の葉」では、「海外展開」をキーワードに、海外展開に取り組む、または今後その可能性を秘めた革新的技術を有するスタートアップや、海外展開を支援する関係者が登壇し、発表やパネルディスカッションを行いました。終了後のネットワーキングでは、参加者同士による名刺交換や意見交換が活発に行われ、大盛況のうちに幕を閉じ、現地とオンラインを合わせて167名の方にご参加いただきました。